

井上ら旧経営陣に賠償責任はない。

第三セクター・トライウッド社は2018年9月、韓国H社に示談金750万円を払いました。この損害責任を巡って新旧経営陣の間で和解。日隈市議は14日、和解内容について質問。

市長はトライウッドの損害責任を巡る裁判について「3つの訴訟が大分地方裁判所で行われることになった。訴訟の争点が同一であることから、3つの裁判をひとつの裁判として取り扱うことになっ

た」と説明しました(左のとおり)。日隈市議は「750万円の損害の原因は何か追及すると言っていたがわかったか」と質問。市長は「要は(独占契約の)取引条項があったか、なかったか」と答えま

した。トライウッドは、井上ら旧経営陣が韓国H社と取引引きを始めたことで、以前から取引引きをしていた韓国RFC社から独占契約を理由に訴えられるおそれがあるとして、韓

6月議会
一般質問

トライウッドの損害賠償訴訟

2019年8月
井上ら旧経営陣がトライウッドに
損害賠償の債務が存在しない
ことの確認を求める訴訟

2019年12月
トライウッドが井上ら旧経営陣に
損害賠償を求める訴訟

2020年8月
トライウッド株主・井上氏が
安心院ら新経営陣の責任を
追及する訴訟

した。トライウッドは、井上ら旧経営陣が韓国H社と取引引きを始めたことで、以前から取引引きを

していたと認めざるを得なくなつた」と、裁判経過を説明しました。市長は「詳細については伺っていない」と答弁。日隈市議は「裁判所が法的に有効な証拠：市長は見ている。私が市長に(この証拠を)提示したが、判断できないということか」と追及。市長は「この件に関しては一切、弁護士に任せている」と答えました。

井上らが法的証拠を提出

トライウッド
損害訴訟

日隈市議は14日、市長に「井上県議と元専務に謝罪すべきではないか」と迫りました。市長は「議員が言ったことが全てではない」という印象がある」と、その場しのぎの答弁をしました。

市長は、井上らの名誉を傷つけたことに謝罪すべき

日隈市議は「井上伸史県議と元専務の名誉を傷つけたわけだから、両氏に謝罪すべきではないか」と追及。市長は「嫌疑があった上で訴訟になっている。これが、なぜ和解になったか。何かがあったんだらう」と答弁。日隈市議は「謝罪する責任はないということか」と、さらに迫りました。市長は「議員が言ったことが全てではない」という印象がある。火のない所に煙

は立たないわけで、裁判を行っただらう」と、法的証拠を無視する答弁を行いました。日隈市議は「市長は、安心院

日隈市議は「市長は、安心院

ら新経営陣が韓国RFC社から独占契約を理由に訴えられるおそれがあるとの理由で、韓国H社との取引引きを停止した判断が間違っていたと認めるか」と質問。市長は「基本的にもそのおそれがある中で対応した。その対応は間違っていない」と答えました。日隈市議は「韓国H社の取引引きを一方的に停止したら、損害賠償請求されると思わないのか」と質問。市長は「取引条項違反があれば責任を問わなければならぬ」と答えました。9月議会でも、明らかにする必要があります。



2017年9月
トライウッドが韓国H社に
取引停止を通知

2018年9月
トライウッドが韓国H社に
示談金750万円を払う

▲市長にトライウッドの損害訴訟の説明を求める日隈市議 (14日)